

# 志あわせ

平成30年9月1日現在  
総人口 7,079人  
65歳以上人口 2,795人  
高齢化率 39.48%

〔発行〕  
智頭町社会福祉協議会  
八頭郡智頭町智頭 1875  
TEL75-2326 FAX75-4110

## ～地域の福祉活動を紹介します～



### 赤ちゃん先生

智頭心和苑では偶数月の第3金曜日に「ママの働き方応援隊鳥取校」による赤ちゃんとのふれあいが行われています。利用者さんは普段よりも柔らかい笑顔になり、中には涙を流して喜ぶ顔も見られて、皆さんがいきいきとした表情になっています。

赤ちゃんが持っている癒しパワーで、ほっこりした楽しいひと時を過ごすことができています。



# 社協ってマントンなとマントン

Vol.4  
ほのぼのホームヘルパーステーション  
後編

## ■ヘルパーのつとめ

加齢や障がいによって介護が必要になっても自立した生活ができるように、そして、住み慣れたご自宅でいつまでも暮らしていただけるように、その方の生活を支えるお手伝いをしています。ヘルパーの仕事がどういうものか、今回は、私たちの仕事の事例をご紹介します。

## ■「家で暮らしたい」の願いを叶えます

Aさん、74歳の女性。難病のため筋力の低下が進み、思うように身体を動かすことができず、身体状況だけみると、特別養護老人ホームへの入所を考えることが妥当かも知れません。

しかし、「ご本人は「自分では身体を動かすことができなくてベッド生活だけど、絶対にこの家から離れたくない！」と強く

望まれています。

Aさんの「家で暮らしたい」の強い願いを叶えたくて、私たちは毎日3回、食事のセッティングや身体介護などをお手伝いするために訪問させていただきま。また、週に2回は入浴車で訪問し、ゆっくりと入浴していただきます。

Aさんとのお付き合いはもう10年以上。

「部屋でお風呂に入れてもらうて、ヘルパーさんが毎日、何回も来てくれて、いろんな人と話ができる。おかげで、この家でずっと暮らしている」とAさんはおっしゃって下さいます。

## ■工夫を重ねて

Bさんは94歳の男性。ご自身ではほとんど身体を動かすことができず、また、食事を飲み込むことができないため胃ろうを行っている、ベッド上で寝たきり生活

を送られています。

Bさんには毎日1回訪問して介護を行います。問題はBさんのご自宅の構造。身体の清潔を保つため、ゆっくり入浴していただきたいのですが、ご自宅の構造上、どうしても浴槽を持ち込むことができません。そのため、入浴ではなく身体の清拭に代えざるを得ませんでした。

しかし、何とか入浴してもらいたくて、何度も何度も浴槽を持って行き、搬入できないものかと検討を続けました。

そうして何とか搬入方法を編み出したのは約一年後。ようやく入浴サービスを始めることができました。この時は、本当にヘルパー職員、皆で手をたいて喜びあったものです。

一年ぶりの入浴で、垢もたくさん出しましたが、それまで無表情だったBさんが「ええあんないじやなあ〜」と笑顔で話された時、「あー、諦めなくて本当によかったな〜」とつくづく思いました。

どんなことも工夫を重ねることとで「無理」ということはない、という事を私たちは学びました。

## ■ホームヘルパーの醍醐味

私たちヘルパー職員は、毎日、たくさんのご家庭を訪問します。対応に苦慮する難しいケースも多く、悩むことの連続です。

しかし、利用者さまやご家族さまと関することで、私たち自身が多くなることが学び、人として成長していくことができる。これがヘルパーの醍醐味だなぁと思っています。



## 連絡先

ほのぼのホームヘルパーステーション  
TEL(75)3553  
〒689-1402  
智頭町智頭1875番地

～福祉関係者のための相談を行っています～  
**福司サポートナビ**をご利用ください  
 (福祉 × 司法) **相談は無料です**

●弁護士が、支援者のみなさまと一緒に、問題(困ったこと、もやもやと感じることなど)を整理したり、問題解決の道筋を考えたりします。

私の担当している方に関する問題で、なんだかよく分からないけど、とりあえず誰かに質問したい。



法律とは関係ないかも…  
こんなこと弁護士に相談してもいいのかな…

**【相談の対象となる方】**

介護サービス従事者、障がい福祉サービス従事者、医療従事者、民生児童委員、支援を受けている方及びその親族など(ご本人は同席でなくてもかまいません)

※1件あたり30分程度を予定しております。ご本人の了解を得ていない場合、お相手のお名前を伏せてのご相談も可能です。

まずは  
ご予約を…

日時	毎月第3月曜日 14時～15時
会場	智頭町社会福祉協議会 (保健・医療・福祉総合センターほのほの 1階相談室)
予約	智頭町社会福祉協議会 あんしん相談センター「ささえーる」 電話 75-3772

※福司サポートナビは、智頭町社会福祉協議会と法テラス鳥取地方事務所の共催事業です。

**小学生の福祉体験学習**

地域の方々と交流する体験から、思いやりの心を育てています。

**交流会**

7月31日に、一人暮らしの高齢者の方々と一緒に食事やレクリエーションをして交流を深めました。

山形



みんなで記念撮影!

智頭



学校給食を食べました!

富沢



交通安全のお話を聞きました!

**田植え体験**

5月27日に、田植え体験をしました。12月に餅をついて地域の方々にお届けします。

那岐



泥だらけになりました!

土師



おいしいお弁当お届けしました!

**配食体験**

7月15日に、一人暮らしの高齢者の方にお弁当を配る配食サービスを体験しました。

# ほのぼのフェスタ

～おうちで快適に暮らそう～

第11回

2018.

とき

10/20

土

午前10時  
～  
午後3時

JMS

智頭町保健・医療・  
福祉総合センター「ほのぼの」  
雨天決行



講演会 午後1時30分～午後2時30分

## 『がんについて知ろう』

講師紹介

秋藤 洋一氏

(あきふじょういち)

※講演会参加の方には



国民健康保険智頭病院 院長

会場

ひだまりホール

### 1 ▶ 粗品プレゼント

箱ティッシュ・ボン菓子  
※来場者プレゼント  
引換券をお持ちく  
ださい

先着200名

### 2 ▶ ミニ健診コーナー

血圧測定  
簡易血糖測定  
タバコ依存度測定  
など

### 3 ▶ 歯科コーナー

お口の無料相談  
お口の動きチェック  
(高齢者対象)  
歯磨き粉プレゼント

### 4 ▶ 大抽選会

豪華景品多数!!  
※当日、抽選券をお持ち  
いただき会場内に設置の  
抽選箱にお入れください  
午後2時30分～

お問い合わせ

- 主催/ほのぼのフェスタ実行委員会
- お問合せ先/智頭町社会福祉協議会

TEL:0858-75-2326  
ほのぼの敷地内は全面禁煙です

## 平成30年7月豪雨災害〈智頭町災害ボランティアセンター〉

7月5日からの豪雨により智頭町内も多くの被害を受けました。民家にも床上浸水などの被害が多数あり、智頭町社協では、7月10日から15日までの6日間、災害ボランティアセンターを開設しました。

### ○ボランティア募集

家屋への浸水被害では、流入した泥の掻き出しなどを手作業でしなければならず、多くの人手が必要です。そこで、智頭町災害ボランティアセンターでは、その作業に協力していただけるボランティアさんを、主に智頭町内から募集しました。



6日間の活動期間中、町内外から延べ85名の方がボランティア

として参加してくださいました。連日、記録的な猛暑の中での厳しい作業でしたが、皆さん、献身的にご協力いただきました。本当にありがとうございました。

### ○豪雨災害をふりかえって

今回の豪雨災害では多くの被害を受けた智頭町ですが、安否確認や復旧作業に懸命に動く消防団員や住民同士が助け合う姿を見て、改めて地域の力の大きさを感じました。

「災害時に強い町」とは、「地域の力が大きい町」のことだと思います。地域の力をもっともっと大きくできるよう、智頭町社協も、さまざまに取り組みをすすめてまいります。

## 智頭町社協の人材育成の取り組み

現在、さまざまな企業で「人材不足」が大きな問題となっており、智頭町社協においても「人材の確保」と「人材の育成」は、最重点の課題として位置付けています。

### □福祉人材に関する考え方

福祉に関する業務は、対人援助が中心であり、業務を行う職員一人ひとりの知識・技術・接遇力・モノの考え方でその品質

が左右されます。しかし、今の智頭町社協はまだ十分な力量を持ってはいません。職員一人ひとりが意欲をもって成長できるように取り組む必要があると考えます。

職員の資質向上が組織の活力を生み出すと考え、智頭町社協では職員の人材育成に積極的に取り組みます。

### 人材育成が重要課題



#### 主な取り組み

- 人材育成プロジェクト委員会の設置  
教育方針、研修体系の整備等
- マネジメント研修、階層別研修、事業所毎による専門職研修、等々



職員研修にて演習に取り組んでいる様子

# 勝手に表彰!

第15号



は せ ま き み  
長谷牧美さん(佐治)

こ ば や し ひ ろ こ  
小林弘子さん(土師)

ふ く た  
福田さとみさん(土師)



各所の福祉の現場でご活躍する仲よし3人娘!その中でも、「智頭森のミニデイ」での活動は9月でまる2年を迎えました。最初は、森のミニデイの立ち上げ支援だったはずが、利用者さんの笑顔と智頭町の福祉のためにとやりがいを感じ3年目に突入されました。「1回は笑って帰ってもらおう」と楽しく過ごしてもらえるよう工夫しています。智頭心和苑で勤務した長年の経験をもとに、

利用者さんの介護予防を特に意識して、色んなレクリエーションを行い、利用者さんが元気でいられるよう努力しておられます。

最初の頃は利用者さんが1名だったこともあるようですが、いまでは12名に増えました。笑い声の絶えない居心地のいい場所になっているのは、この3名の人があってこそだと思います。

「智頭森のミニデイ」以外にも、各々で「土師森のミニデイ」や「子ども食堂」などに関わられている小林さん、長谷さん、福田さん。勝手ながら表彰します。



読者の  
ひろば



## ◆前号の「志あわせ」を

読んで♪

7月初めの西日本豪雨では、智頭町でも経験のない雨量となり各地で被害が起りました。町社協では毎年災害ボランティアセンター設置訓練を行っておられるとの事。このたびの災害では迅速に職員さん一丸となってボランティアセンターを立ち上げ対応されたのは、訓練の賜物だと感じました。

私の住む地区では、全集落で「防災福祉マップ」の作成ができており、それをもとに年一度地区全体の避難訓練を行っています。それが今回の災害時にどのように生かす事ができたのかは反省点も多く、これからの課題であると感じました。しかし、個々でお話を伺うと「一緒に避難しよう」「〇〇さんげえは大丈夫かあ」など、近所づきあいが深い地区だからその声かけがあったようです。智頭町で人がなかつたのも、この人と人のつながりなのかなと深く思う体験となりました。(那岐 女性)

「社協ってこんなところ」を読み、8年前に亡くなった母を思い出しました。働きながら8年間、寝たきりの母の介護を続け、家で看

とり親孝行ができたのも(自分ではそう思っています)訪問入浴、身体介護等ヘルパーさんの手厚い介護サービスのお陰だったと改めて思い感謝です。

またミニデイでは「ささえーる」の説明会で、人の自立を助け、住みなれた地域で安心して生活が送れるようなサービスに取り組まれ私達を守ってくださっていることがわかり、「社協」って本当に「ささえーる」だなと感じました。(那岐 女性)

☆ご感想  
ありがとうございました。

## ◆「志あわせ」のご感想・ご意見お寄せください♪

本誌への感想やご意見をお寄せいただいた方の中から、抽選で5名の方に商品券を進呈します。締切りは10月31日(水)必着です。応募方法は、ハガキ又は応募用紙に住所、氏名(ふりがな明記)、本誌の感想をご記入の上、郵送又はFAXで送付いただくか、智頭町社協へご持参ください。※応募用紙は社協窓口にあります。

宛先 〒689-1402

智頭町智頭1875番地

智頭町社会福祉協議会総務課

FAX 75-4110

ぱれっと三田 彩工房よりお知らせ

就労継続支援事業所ぱれっと三田では月に2回、「保健センターほのぼの」でお菓子の販売を行なっています。

自家栽培の果物や無農薬栽培の果実を使用し、安心して食べていただけるように添加物も加えていません。

素材の美味しさを大切に、一つ一つ心を込めて手作りしたお菓子です。

皆さんにお会いできるのを  
楽しみにしています！



**場 所** 保健センターほのぼの そよ風通り  
**日 時** 毎月第1・第3金曜日  
10:00～11:30頃まで  
**販売商品** 焼き菓子、ジャム、自主製品

ご寄付ありがとうございました (平成30年6月～8月まで)

\*一金 100,000円

田中 弘子様

\*金一封

日本基督教団城西協会様 (ぱれっと三田へ)  
匿名

\*古布・タオル・裁断布・布おむつ等  
(心和苑、デイサービス等へ)

藤原 和子様 安住 久子様  
中村 貞子様 武田喜久野様  
平尾美代子様 和田美智子様  
智頭町赤十字奉仕団様  
匿名多数

\*タオル(災害ボランティアセンターへ)

明治安田生命保険会社様  
山陰合同銀行様  
山田 勝美様

\*折り紙作品(鍋敷き、ごみ袋等)

安住 久子様  
尾崎恵美子様 (ひまわり会へ)  
中村 利江様 (ひまわり会へ)

\*尿取りパット・紙おむつ等

匿名多数

\*ぱれっと三田・自立の家・あおぞら

ひまわり会・配食サービスへの各種食材  
各地区コスモス会様  
各地区給食ボランティア様  
匿名多数

香典返し寄付金は、サロン活動等で地域の皆様に活用  
していただいています。

8				7				6				月				
五〇、〇〇〇	金一封	金一封	金一封	五〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	金一封	七〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	ご寄付額(円)
智頭	大屋	西谷	智頭	芦津	智頭	口波多	早瀬	大背	波多	智頭	新見	智頭	中原	坂原	三吉	住所
寺谷美重子	岸本和夫	藤原国雄	谷口保	武田美鳥	山本達朗	西村好史	古田敬泰	久本一成	大原正夫	矢部和美	藤原富美枝	下山きよ子	中澤登志江	平尾早苗	平尾増男	故人のお名前
86	86	92	74	95	84	82	79	82	83	94	88	97	91	82	86	年齢
寺谷宇三郎	岸本政宏	藤原名子	谷口幸雄	武田堅史	山本浩志	西村保彦	古田雅彦	久本繁夫	大原守雄	矢部彰一	藤原薫	下山智	中澤一博	平尾武彦	平尾恭宏	寄付者(ご芳名)

◎了解をいただいた方のみ掲載しております。敬称略

(平成30年6月～平成30年8月まで)

香典返し等寄付金ありがとうございました

## ふれあいサロン紹介

•登録数 97グループ •登録者数 1,414人（8月31日現在）

Vol.54

### 若杉会（山郷）

皆で集まって、井戸端会議が出来たらいいなと会を結成しました。月に1回午前中に、公民館の夢来館<sup>むらかん</sup>に集って過ごしています。

サロンの名前は“いつまでも若く”という意味で「若杉会」という名前に決めました。中原集落の同年代の現役主婦8名の集まりです。


毎回、おしゃべりしながらウォーキングや手芸や料理…。会員同士が先生や生徒になって様々なことに挑戦しています。

この会に入って、集落全体の様子がよくわかるようになりました。また、畑仕事で、今しなければならぬ事など皆に聞けるし、教えてもらって勉強になります。

サロンの時は、時間があっという間に過ぎてしまいます。

もっと輪をひろげて仲間をふやして行くことが目標です。誰でも気軽に入れるよう今後も声かけをしていきます。



 ふれあいサロンは一部赤い羽根共同募金の配分金で運営しています。

## ふれあいの場

### ミニデイ紹介

Vol.24

60歳以上の方の健康の維持・増進・生きがいのある生活を支援する活動「ミニデイ」の活動を紹介します。登録数：39グループ 登録者数：674人（8月31日現在）

### 横田すずらん会（土師）

集落の先輩たちが昔から続けていた会を H27 年にミニデイ活動に登録して、今も13名の会員が公民館に集っています。食事は季節を考えてみんなで相談し、野菜を持ち寄って手作りしています。また、年2回は花見や森林セラピーなどのお出かけをして楽しんでいます。ミニデイに出席できない会員さんの分も、食事は必ずお届けして、見守りも兼ねています。

今回の大雨の時も、すぐに公民館に集まり、みんなで揃って避難所へ避難しました。その判断もすばやく、これも普段の生活で集落の皆がまとまっているからだと思います。

普段会えるようで会えない集落の皆と、月に1回集まるのがとても楽しみで、1か月がとても早く感じます。

長年続ける秘訣は、みんなの人柄かなあ。リーダーがいて、みんなが協力する。昔からチームワークが良いです。これからも、出来る限りいつまでも、続けて行きたいです。

